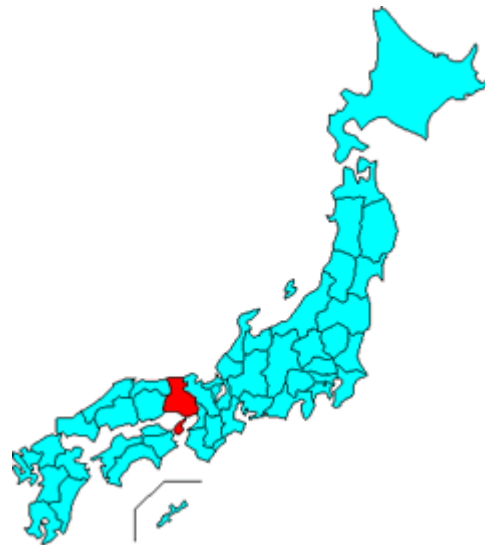


# コロナで見た医療の課題～医・歯・薬・看・介～



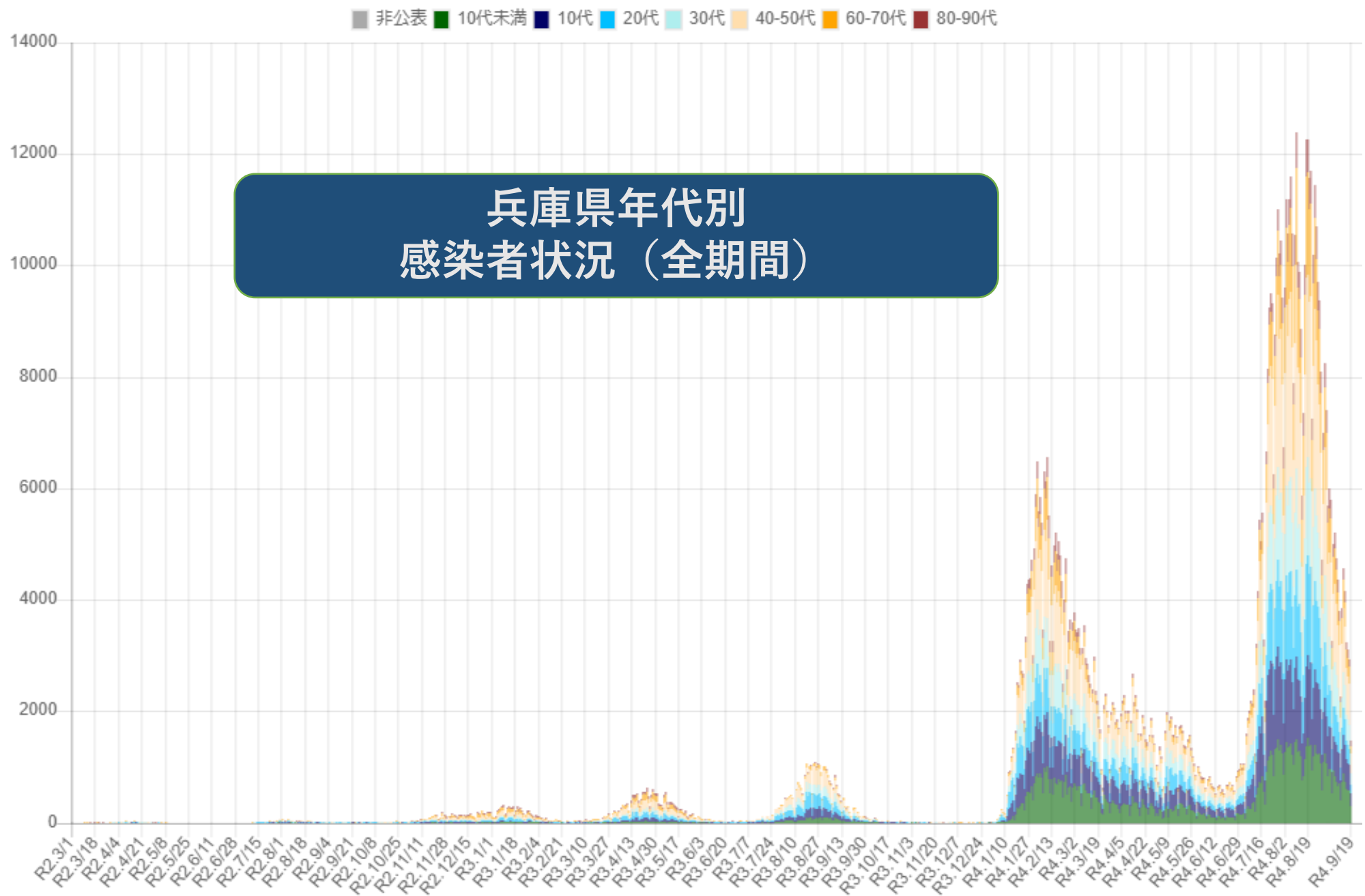
## 第7波における兵庫県内の医療施設の状況 看護の視点から



兵庫県看護協会  
会長 成田 康子

# 本日のお話の内容

1. 第7波に関する兵庫県内医療機関の看護管理者アンケート結果
  - ・ クラスタ発生状況
  - ・ 対応状況
  - ・ 第8波への備え
  - ・ 国民へのメッセージ
2. 新人看護師離職率
3. WHO 自分や周りの人をオミクロン株から守るには？



# 第7波における兵庫県内の医療施設の状況を把握するためアンケート調査を実施

## 第7波（6/22～9/30） 新型コロナへの対応についての調査

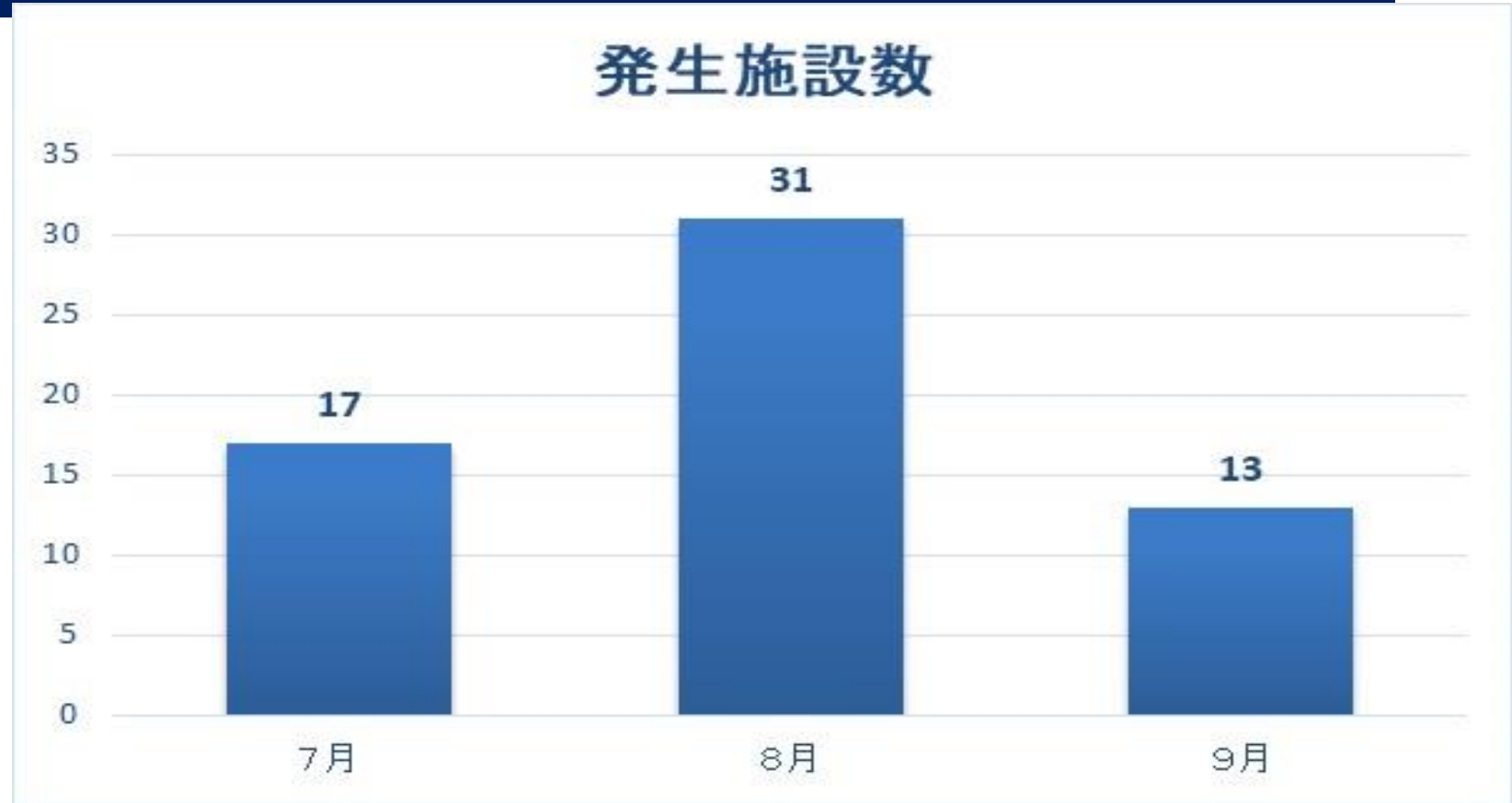
- ◆方法：【病院のみ】HNAメールインフォ.一斉送信アンケート
- ◆配信数：メールインフォ登録病院：235施設（67.7%）  
（県内医療施設数：347）
- ◆アンケート返信数：69施設（回収率29.4%） 県内病院の19.8%
- ◆調査期間：2022年9月30日～10月7日

# 第7波クラスター発生施設数と発生時期

院内クラスター発生状況  
(患者・職員を含む)

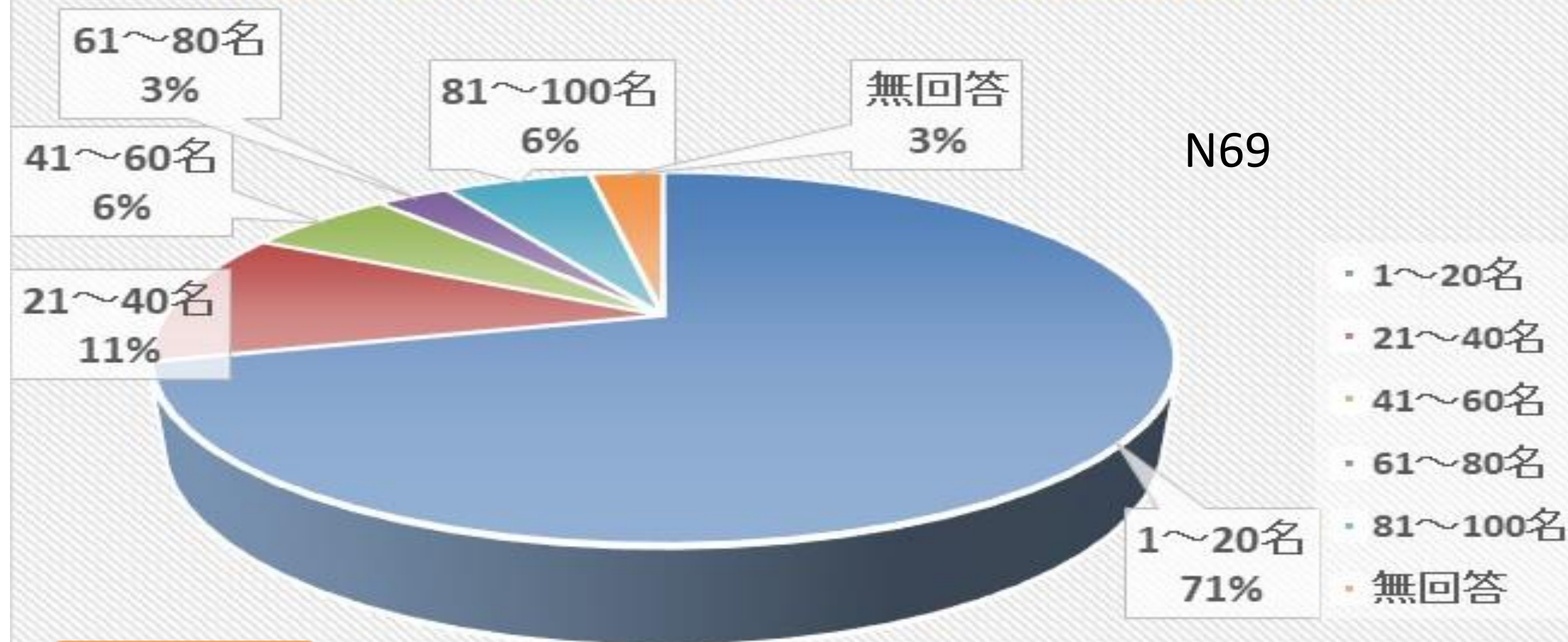
N : 69

①あり 47施設 (68.1%)  
②なし 22施設 (31.9%)

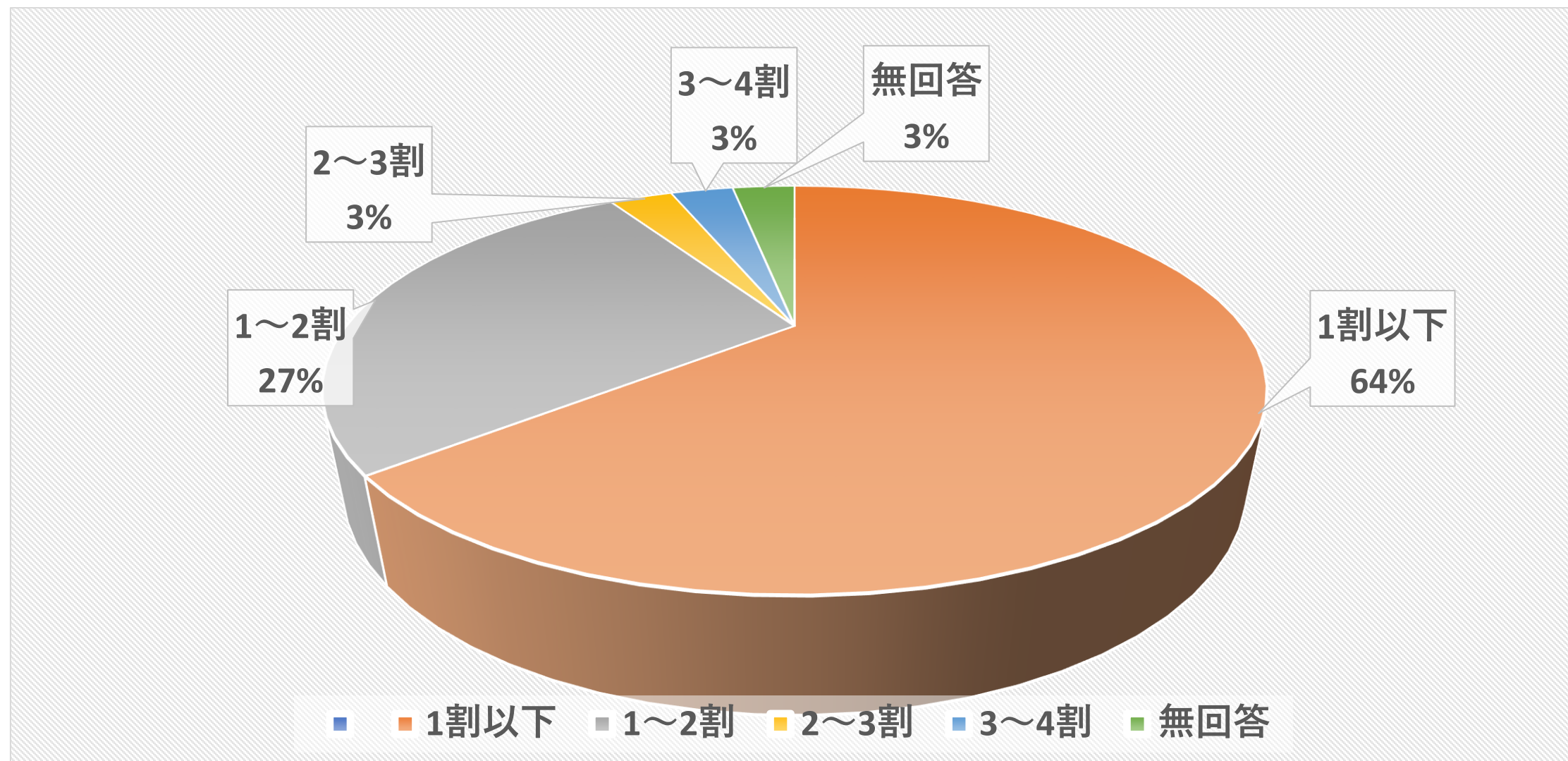


2回発生や月をまたがって発生しているものは、各月1カウントで集計した。

## 陽性・濃厚接触で勤務できなかった医療従事者数

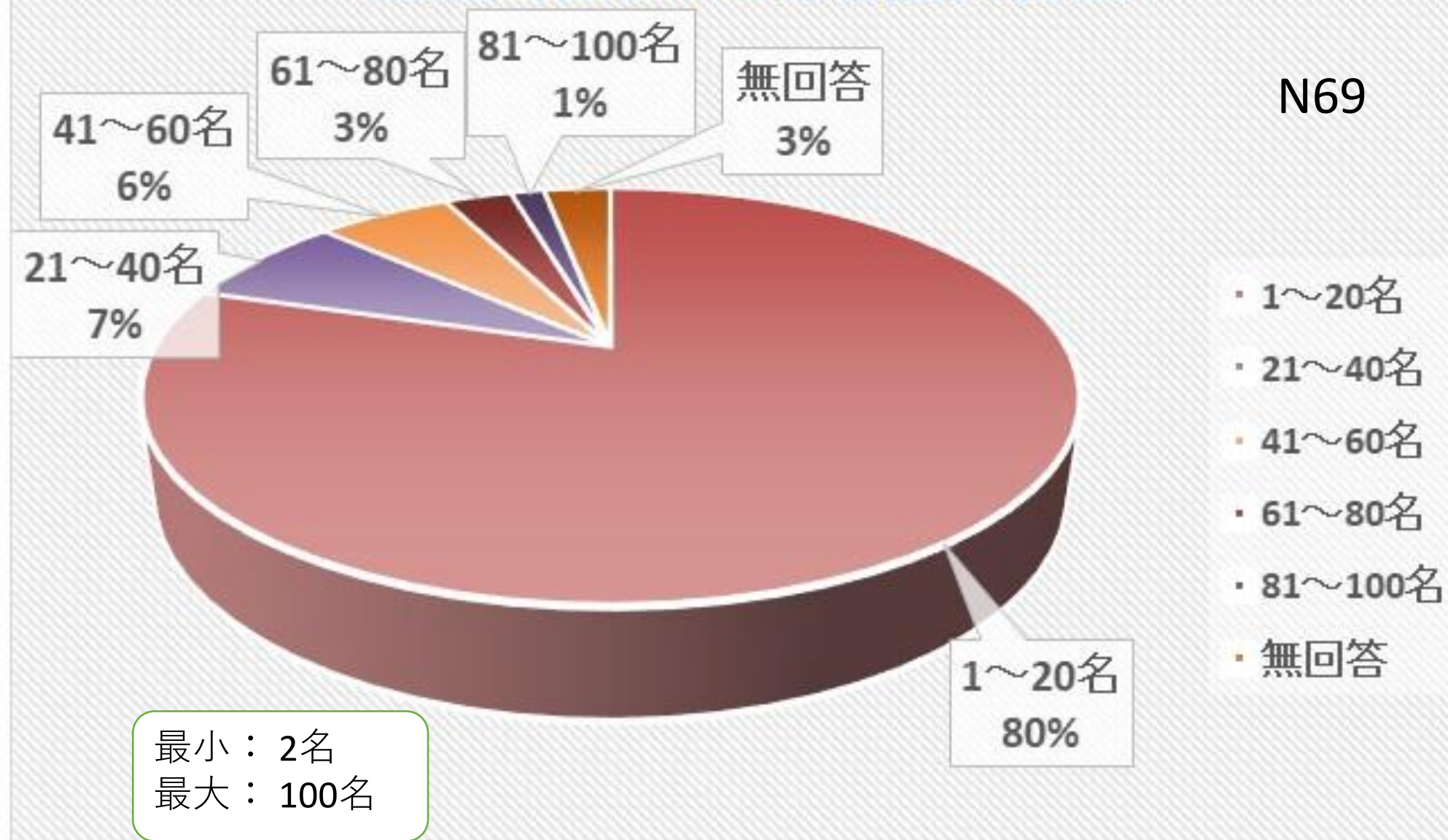


# 勤務できなかった看護職員数の全看護職員数に占める割合



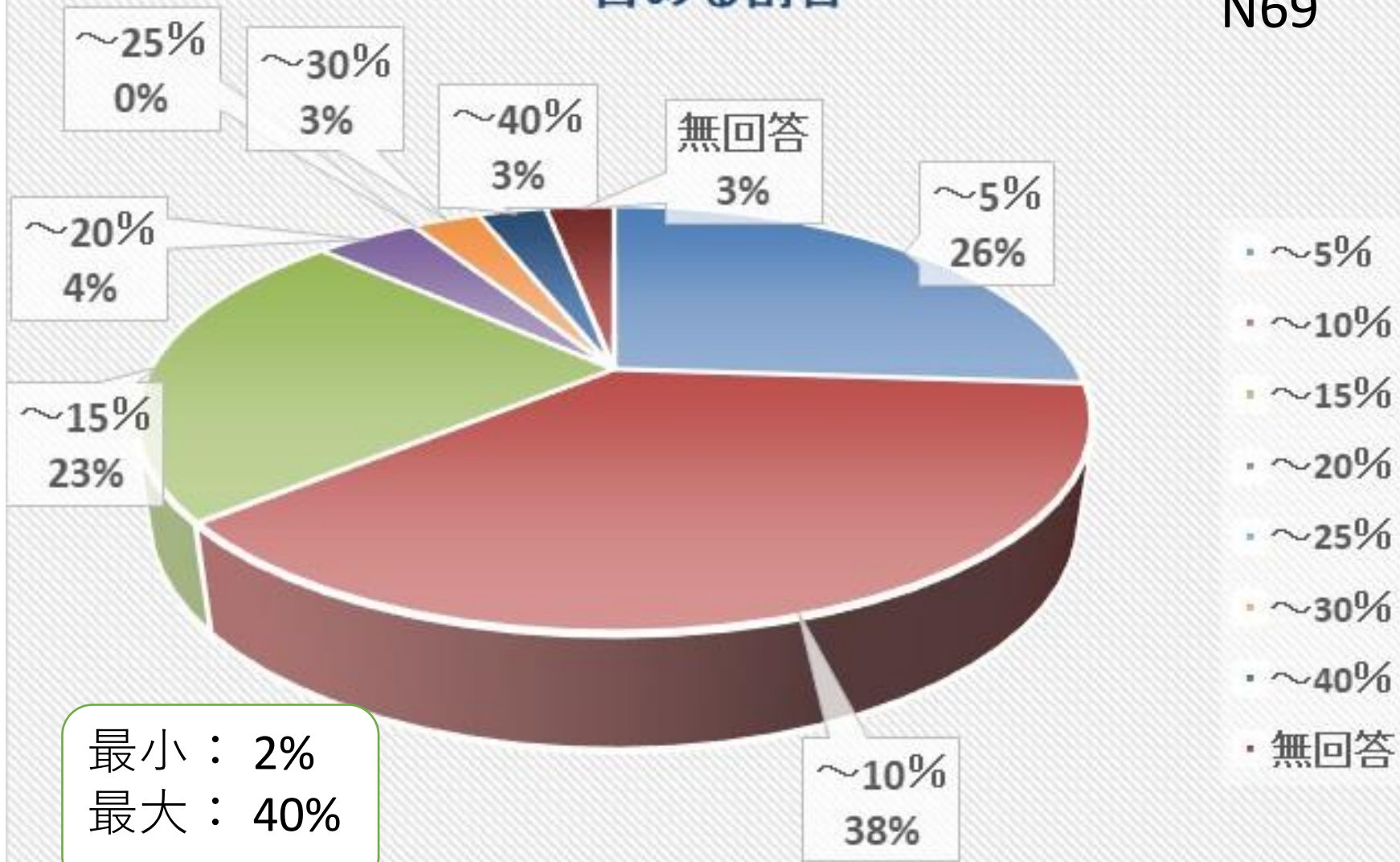
## 勤務できなかった看護職員数

N69



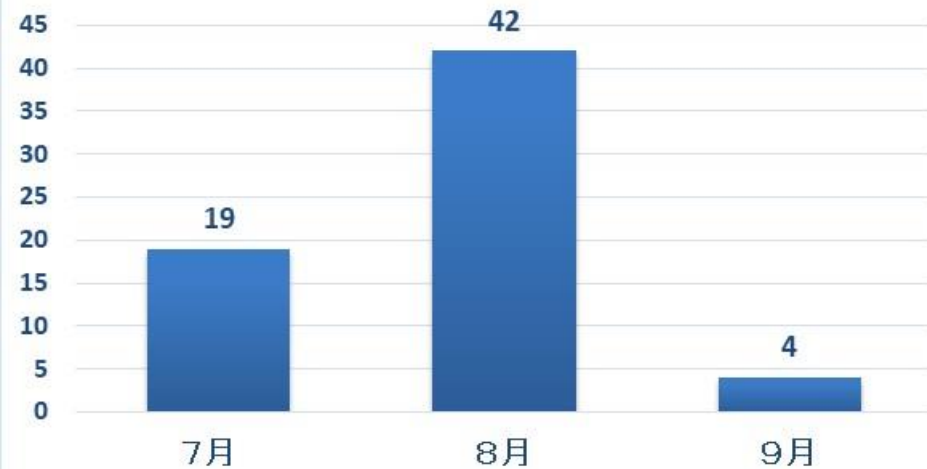
# 勤務できなかった看護職員数の全看護職員数に 占める割合

N69



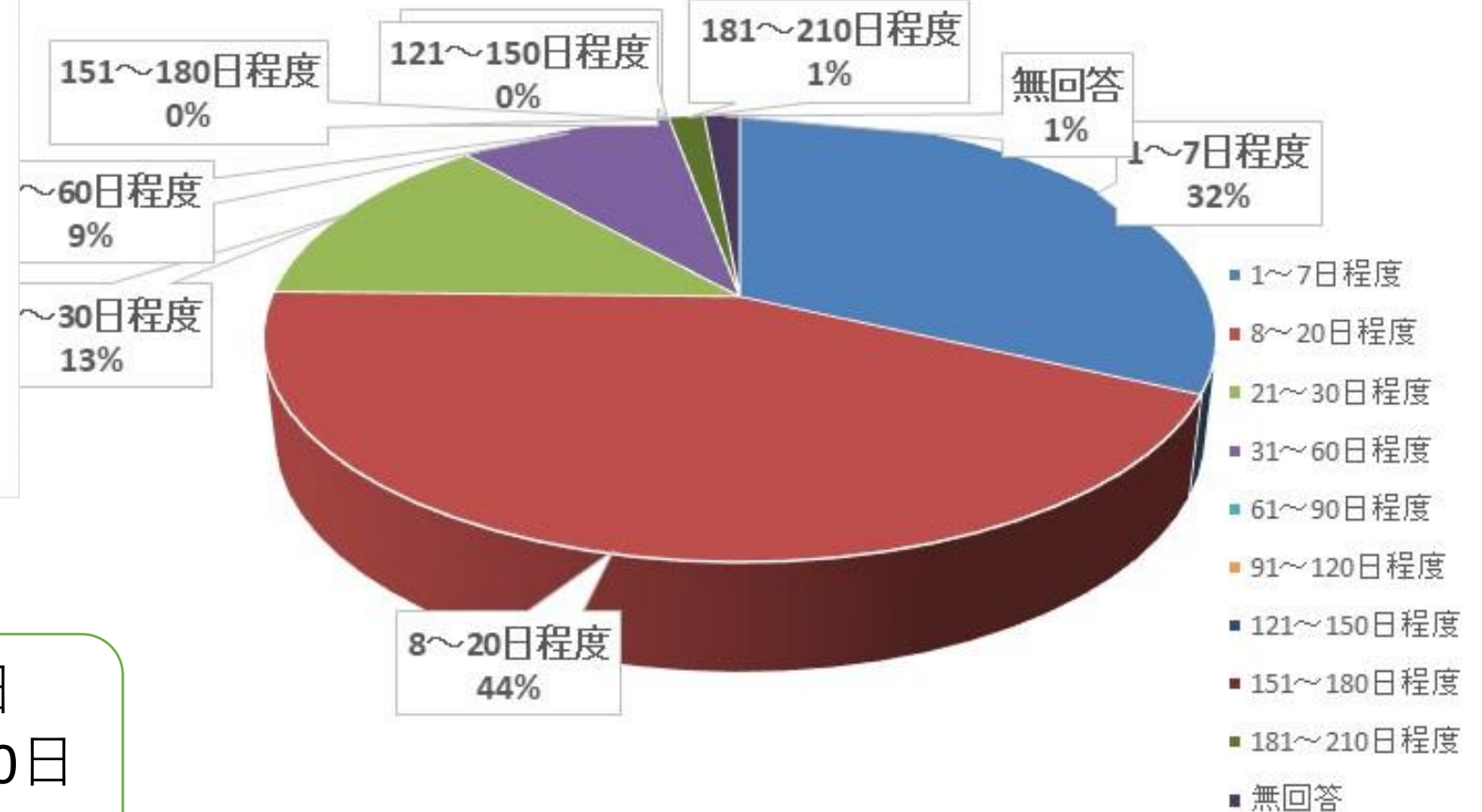
# 医療従事者が最も不足した時期・期間

医療従事者が最も不足した時期



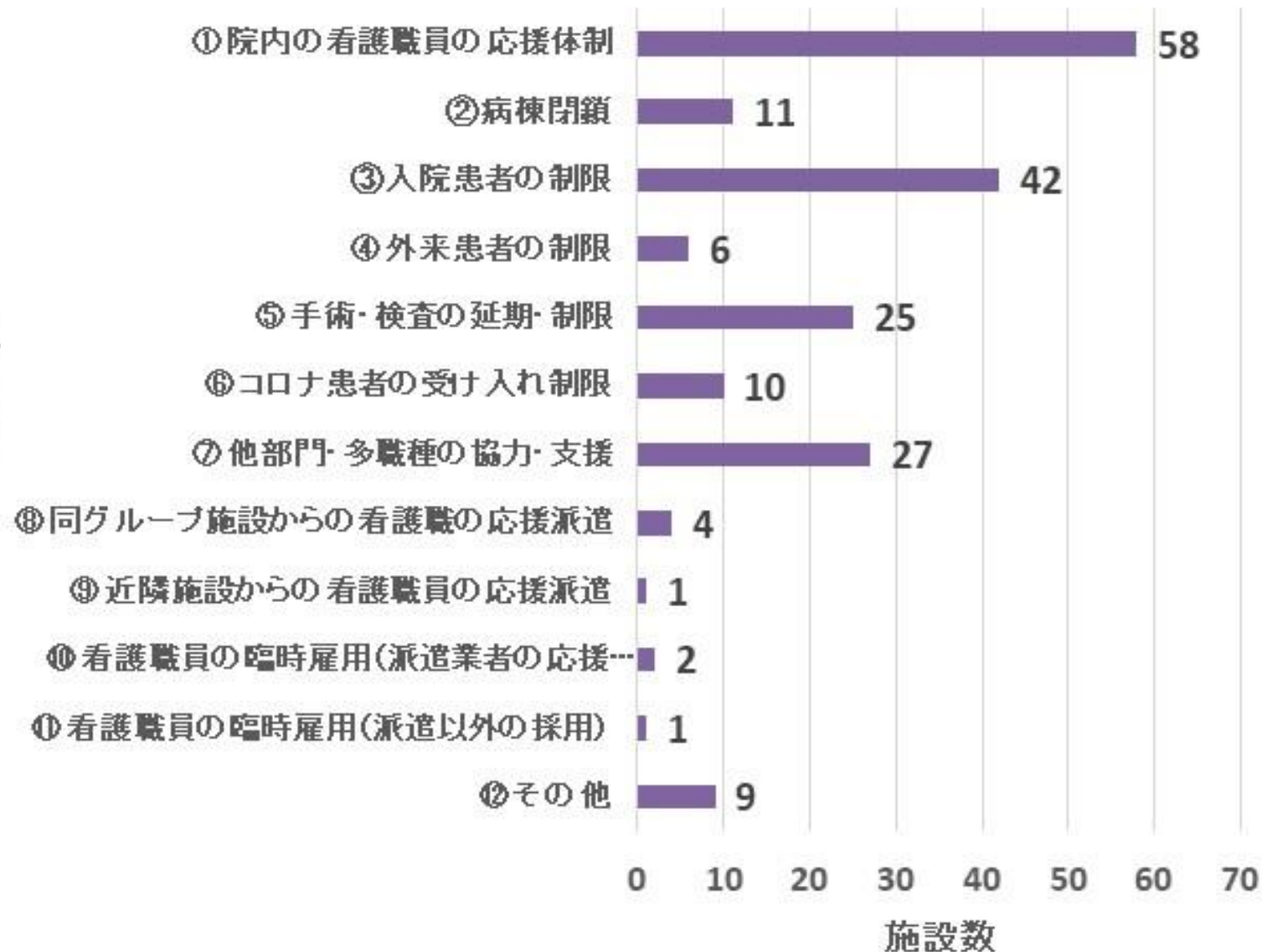
最小：3日  
最大：210日

医療従事者が最も不足した期間



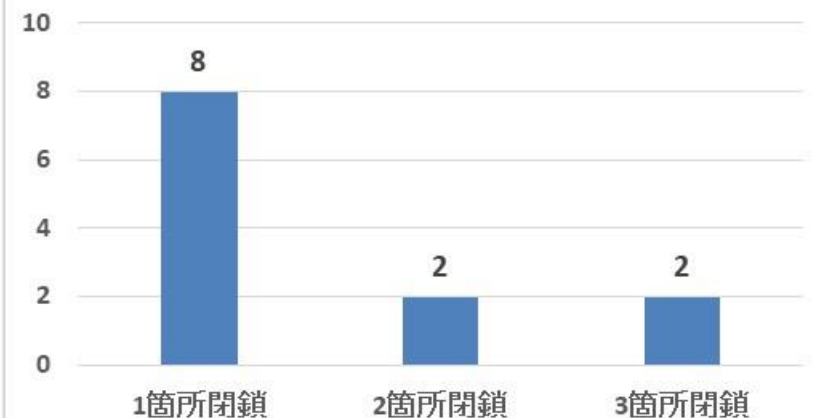
## 出勤できない看護職員数が多い時の対応

対応内容



施設数  
兵庫県看護協会HNA

## 閉鎖した病棟数



# 第6波までに加えて第7波で強化した感染防止対策

## 【看護職】

- ◆手指消毒の徹底、N95マスク着用、PPE着脱徹底、感染防止物品の補充、陰圧テントの購入、院内公共场所の消毒の徹底、各病棟に発熱患者用隔離個室の準備、  
相互チェック（マスク着用・防護服・手洗い）  
吸引処置時のN95マスク装着
- ◆ゾーニングの徹底、ナースステーション内環境整備の徹底
- ◆休憩室の換気、黙食⇒個食、休憩中の歯磨き
- ◆体調不良者の勤務前抗原検査、体調管理・不良時の早めの報告  
職員への抗原キットの事前配布、体調管理の徹底、対象不良を言いやすい  
職場環境作り
- ◆自宅での感染対策の徹底（家族も含む）、私生活の制限、県外移動禁止
- ◆応援体制作り（看護職応援体制、他部署・他部門応援体制）
- ◆クラスター発生時の濃厚接触者の選定の迅速化



# 第6波までに加えて第7波で強化した感染防止対策

## 【患者・家族】

- ◆患者へのマスク装着の徹底、洗面所での歯磨き注意、PCR検査2回、入院前PCR検査に変更
- ◆救急患者のコロナ迅速検査の義務付け
- ◆面会制限（リモート面会）、物品の受け渡し、受付での問診の強化

## 重症患者面会時の感染対策強化

- ◆患者の利用場所・接触制限、自室以外での飲食禁止
- ◆患者分類の明確化（レッド・グレイ・オレンジ）



# 第7波までの経験を踏まえて第8波への備え

- 応援体制が取れるように、各病棟の業務整理、マンパワー確保
- BCPの具体化、院外応援体制の確立
- 体調不良者の迅速な報告、無理しない・させない
- 他者への感染を予防する視点の強化、ウイルスを「持ち込まない」「広げない」ための日々の基本的な感染対策（マスク着用、手指消毒、3密の回避、健康・行動観察等）の徹底
- 医療従事者としての秩序ある生活の順守の呼びかけ
- 濃厚接触者に該当しない（職員間、患者・職員間）
- 患者発生を確認したら、N95マスク装着、
- PPEの着脱・マスクのフィッティングテストの繰り返しの訓練（コロナ受け入れ病棟以外でも実施）
- 5回目コロナワクチンの早期接種の推進
- 家庭内感染の防止（家庭内の行動分析～行動変容）、家庭内での置き薬（風邪薬・解熱鎮痛剤）
- LINEによる迅速な情報共有
- 一般病棟での、コロナ陽性患者の受け入れ準備



# 第7波までの経験からの気づき

## 【これまで培ってきたチカラ】

- ・院内多職種連携のチカラ
- ・院外（保健所や施設）との連携・チーム医療

## 【ジレンマ・不安】

- ・コロナだけでなく様々な医療ニーズを1人でも多く引き受けるのが地域密着型病院の使命、医療逼迫し受け入れられない時のジレンマ
- ・看護職の観察力・アセスメント力のばらつき

## 【病院の果たした役割と看護の力を確認】

- ①地域医療の期待に応えるため、コロナ病床の新設に賛同した力
- ②手術、救急受け入れなど、業務を止めずに病院運営を継続した力
- ③規模の小さい病院ならではの協力と工夫する力
- ④コロナ患者の看護に専心する力」である。



# 国民へのメッセージ1

- 自分が濃厚接触者にならない
- 感染を広げない、集団の中でのマスクの着用、ここというところでの感染防止行動
- 家族以外の人との飲食時の感染防止対策の徹底
- 家庭内感染も考慮し、職場への影響のない範囲で行動
- 体調不良やコロナ陽性の申請は必ずしてください
- 日常生活行動の維持、自己免疫力の向上
- 社会生活行動と医療従事者の行動にはギャップがあります。医療現場ではまだまだ感染防止対策が必要。ご協力をお願いします。
- 無資格でも医療現場で働けます。看護補助者としてご協力ください



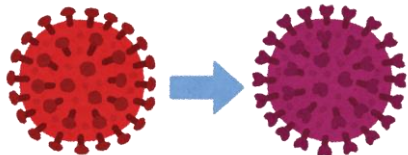
## 国民へのメッセージ2

- 院内感染対策の強化に対する一方的なお叱り（いつになったら患者に会えるのか、状態が悪いのに会えないのはどうか等・・・
  - クラスターが発生した場合のお叱り（感染をおこすとはどんな病院か！感染対策が徹底していないのではにか等）は懸命に働く者の士気が下がったり、逆に苦情等の対応に時間を要してしまいます
  - 経済・教育(活動)は止めない方針で世間は隔離期間の短縮等をしているが、罹患率は高くなる。無条件でも隔離短縮できないことを理解して行動していたらいい。罹患者母数が増えたい。
- 待ち時間や面會制限に対して、患者や家族から看護師に対しての罵声や恐喝めいた発言をいさぐちしてほしい。
- 長期に及ぶ新型コロナ感染症予防策として、医療体制を整えていくことが必要です。国民一人ひとりが自覚を持って協力することが大切です。
- 



# 国民へのメッセージ3

- 長いコロナ禍での生活に疲れ、心の健康保持が難しくなっていると思います。医療従事者、長者は、国民の皆様の命と健康を守るため、国民の皆様の健康を大切にしています。医療従事者、長者は、国民の皆様の命と健康を守るため、国民の皆様の健康を大切にしています。
- 大事な人を守るのはあなた自身です。必要時の感染予防行動を継続しながら日常生活を有意義に過ごしましょう
- コロナはどこにいても安全とは言えません。重症化リスクは初期に比べてかなり低くなっています。
- 特別に考えないで、上手に付き合ってください。ワクチン、手洗いの励行、規則正しく生活してください。
- 制限のない楽しい毎日を送っている人の裏で、日々コロナと戦い、いまだ制限のある生活を送っている医療従事者がいることを忘れないで欲しい。
- 御家族と会えない患者さんや御家族様の心情を思うと面会を通常にしたいと思っていて、もまだまだ直ぐには通常に戻せない事を申し訳なく思っています。いろいろな葛藤の中で私達医療従事者は日々業務していることを御理解して頂ければ有難いと思います。
- 長時間のPPE着用による健康への影響が問題、脱水などから基礎疾患悪化の職員もあったので、PPEの人体への影響を調査研究して、人体に優しいPPEの開発をしてほしいです。



# 国民へのメッセージ 4

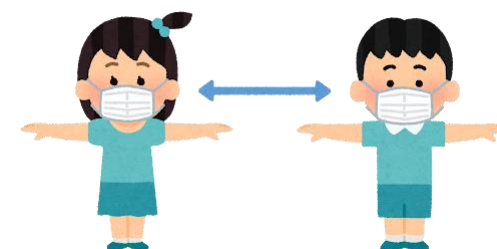
- 発熱や風邪症状があれば、必ず電話連絡を入れてから受診する事を守ってほしい
- 感染防止の意識を持ちながら生活をすることの継続で、体調管理や生活の質の担保がされることも、忘れずにいてほしい。
- 3回目のワクチン接種をひとりでも多く受けて欲しい
- 長きにわたり応援くださりありがとうございました。本当に感謝でいっぱいです。
- コロナ感染へのご不安はまだまだあるかと思いますが、具合のお悪いときは我慢しすぎず、病院にいらしてください。  
皆様の元気と幸せのお手伝いができたら幸甚です。



# 濃厚接触者とは？

厚生労働省 2021年9月号

- 濃厚接触者とは、陽性となった人と一定の期間に接触があった人をいいます。この期間には、症状のある人では症状出現から2日前、症状のない人では検体採取時から2日前の期間です。この期間に、以下の条件に当てはまる人を濃厚接触者といいます。
- ☐ 陽性者と同居している人
- ☐ 陽性者と長時間接触した人（車内、航空機内などを含む。機内は国際線では陽性者の前後2列以内の列に搭乗していた人、国内線では周囲2m以内に搭乗していた人が原則）
- ☐ 適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた人
- ☐ 陽性者の気道分泌液や体液などの汚染物質に直接触れた可能性が高い人
- ☐ マスクなしで陽性者と1m以内で15分以上接触があった人
- ただし、これはあくまで原則であり、あらゆる状況を聞き取ったうえで保健所が総合的に判断します。



# マスクのつけ方（悪いつけ方）

周防大島町病院事業局 文責：業務課 保健師 兼田



必要な時以外は顎マスクだと、その間は0%。  
付け直すときに、マスクの表面についたウイルスに触れてしまう恐れも。  
(飛沫・接触感染の恐れ)



顎までしっかり覆えていないと、顔とマスクの隙間が大きくなってしまい、そこからウイルスが入ります。  
(飛沫感染の恐れ)



鼻が出ていると、0%。  
鼻からウイルスが入ります。また、鼻を触ってしまいやすくなります。  
(飛沫・接触感染の恐れ)



そして実は、マスクの付け方がフィットテスト通過並みに完璧でも、飛沫を飛ばされると目からウイルスが入ってきます。  
(飛沫感染の恐れ)

# 自分や周りの人を オミクロン株から守るには？



感染を広げないために、できる対策をすべて行いましょう。  
順番が来たらすぐにワクチンを接種することも重要です。



オミクロン株に関する情報は日々更新されます。  
最新情報は [who.int](https://www.who.int) でご確認ください。

26/1/2022

# 新型コロナウイルス感染症 感染予防のための適切な換気

新鮮な屋外の空気を中に入れ  
屋内の空気を外に出しましょう



[https://extranet.who.int/kobe\\_centre/ja/covid/covid-public](https://extranet.who.int/kobe_centre/ja/covid/covid-public)

兵庫県看護協会HNA

より効果的に換気するには  
風の通り道をつくりましょう



もしくは窓の外に向けて  
扇風機を置いてください



[https://extranet.who.int/kobe\\_centre/ja/covid/covid-public](https://extranet.who.int/kobe_centre/ja/covid/covid-public)

# 空気を再循環させると ウイルスをより拡散させる可能性があります



[https://extranet.who.int/kobe\\_centre/ja/covid/covid-public](https://extranet.who.int/kobe_centre/ja/covid/covid-public)

新型コロナウイルス感染症のワクチンによる予防効果の持続期間はまだ正確には分かっていません  
しかしほとんどの人の場合少なくとも6カ月間は重症化や死亡を防ぐ効果があります

高齢者や基礎疾患のある人、もしくはウイルスに多くさらされる人は、免疫がより早く低下する可能性があります。新型コロナウイルス感染症から身を守るために、ワクチン接種と併せて他の感染対策も行いましょう。

03/07/2021



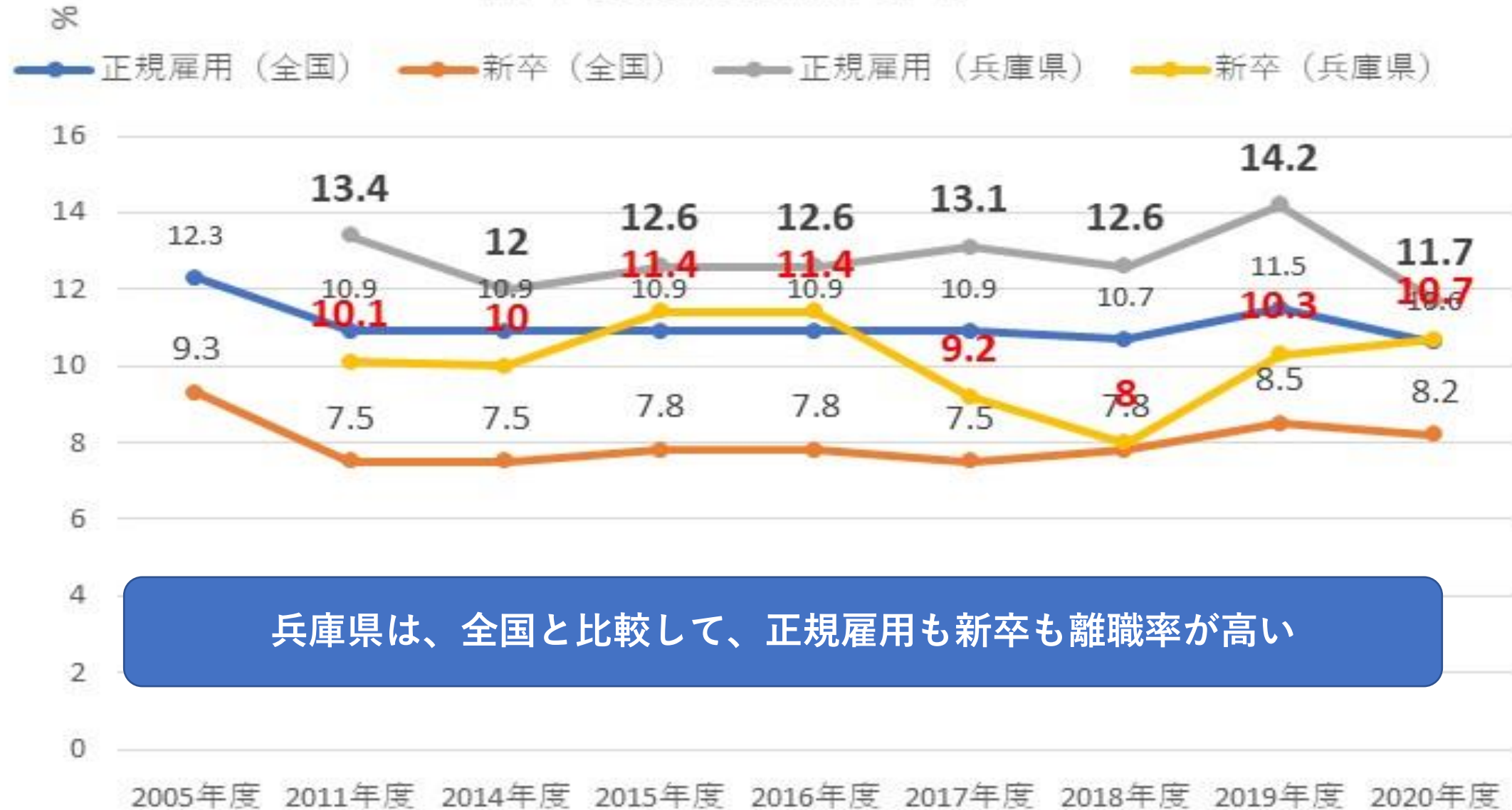
周りの人を守るために  
できることは全てやりましょう

感染拡大を抑えるために  
できることは全てやりましょう

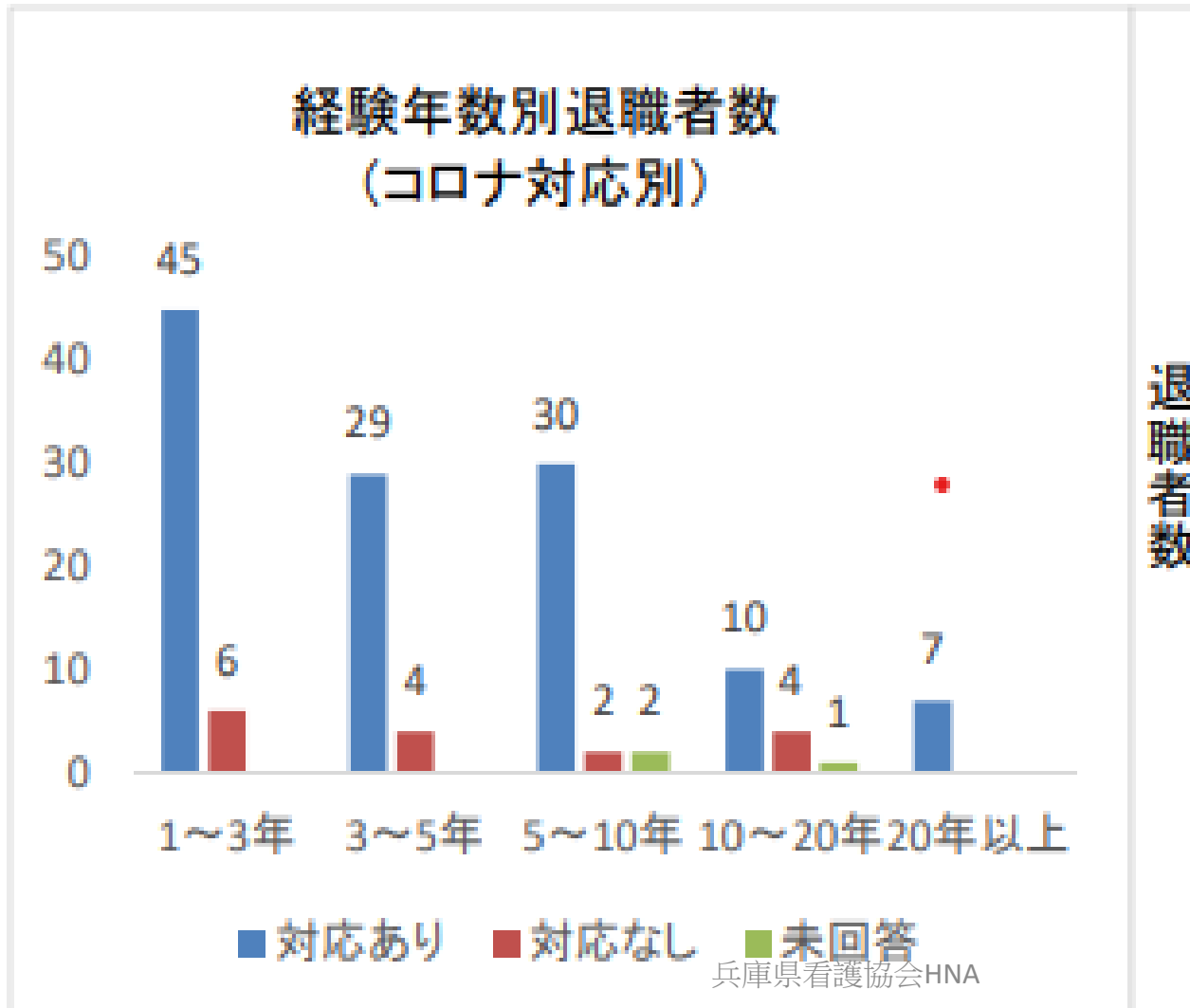


[https://extranet.who.int/kobe\\_centre/ja/covid/covid-public](https://extranet.who.int/kobe_centre/ja/covid/covid-public)

## 新人看護職離職率推移



# 兵庫県新型コロナウイルス感染症に関連した 看護職員の退職者数（経験年数別）



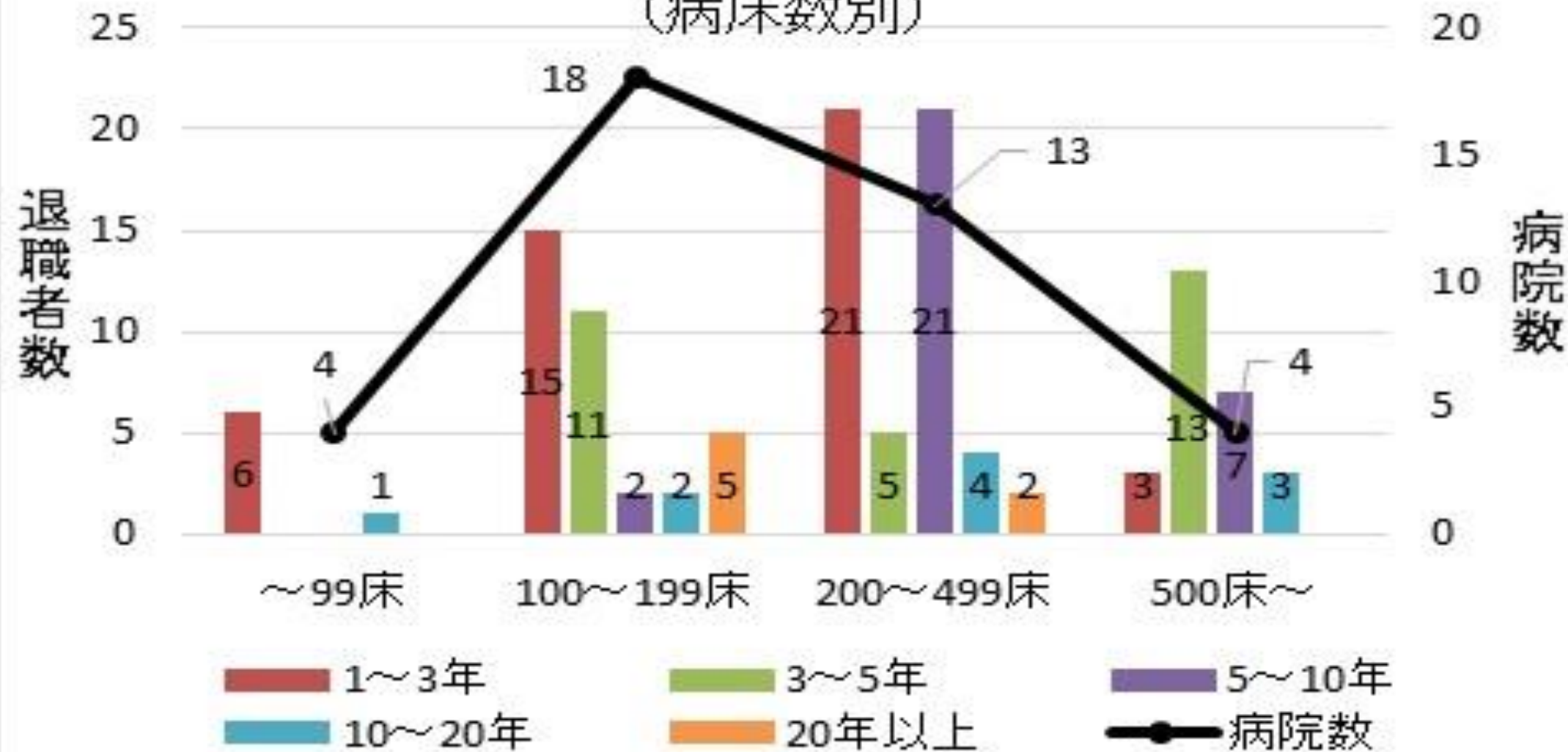
兵庫県医務課調査結果  
令和3年5月

退職者数

兵庫県内  
262 病院/348 病院  
（回答率75.3%）

令和3年3月19日～  
4月30日

# コロナ対応病院における経験年数別退職者数 (病床数別)



# 退職者の離職理由



## 全国調査の結果（N=2668）

- ・ 感染対応する看護職員の確保
  - ・ 感染または濃厚接触で働けなくなる看護職員の増加
- 新卒看護職員の成長・習熟への影響

# 新型コロナウイルス感染症対応で、管理者として 労務管理・人材確保等で困っていること、課題

